

	行政	協働	市民・民間
健やかな緑への関心【活】 パートナリシップによる	<ul style="list-style-type: none"> 緑について相談する窓口（市への相談） 特色ある公園の整備 →既存公園の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 市民管理、サポート活動センター 区に任せると平均、平等になってしまうのでNPO法人化するのも手 リーダー・組織 リーダーシップ、市・市民・事業者 活動の核となる組織の設立 館長さんが欲しい、みどりの館長（SAKUMO） やりたいリーダー募集（公園を使った） →自転車、ドローン、ランニング、犬、ゴルフ 	<p>視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 里山を自然公園として捉える、山林との境界部 平尾山公園、区民みんなで1回/年、山登りしている(100) <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別公園制度の展開⇔権利の問題 利用のためには駐車場必要 <p>話し合い・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> シンポジウムの集まり、意見交換 やりたいこと、問題点を出す、ひろう、市民交流 公園会議（監理者の集まり）
豊かな緑と水辺をまもり育てる【め・み】	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 住んでいる人に管理を求めすぎるから苦情がくる 南佐久警察署前イチョウ切ったのは地元要望 植樹が狭いのが問題 <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政から管理の全作業委託可能か 例) 20万円/年 区の数: 250 行政から街路樹管理要請 「近隣住民」だけでなく「地元住民」に投げかける 緑の整備についてのアプローチ（地区で行ってもらえないか） 	<p>視点</p> <ul style="list-style-type: none"> まちなかと山間部では管理レベルは異なる ①山のみどり、②そのままのみどり、③つくって管理するみどり <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園管理は委託、シルバー人材センター 土地改良区、水路、土手 指定管理 →アダプト、建設業者→点数 区に投げると役員の負担が重すぎる <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> イオンポイントとの連携 例) 岩村田 やればやるほど得（生きがい）になるしくみが必要 落葉の処理→肥料化 プロボノ→地元の植木屋さんを巻き込む、技術指導 豊かな水源を守る（中国による土地の買占めを防止する） →水源地の利用者との連携 アダプト活動を活発に <p>緑の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道整備について（除草管理）、隣接する土地の所有者が行う →税金の優遇 材料支給（市） →市民による整備 	<p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路樹(77)、5~9月、成功例 区民全体で小田井団地管理 モデルがあるのが大事 恩恵意識や魅力がなければ、管理に携わることはない 達成感、モチベーションが必要 「オレたちのモノ」意識⇔他地区からの利用者が多い →利用者負担？ →今はボラで管理しているが、若い人（不満）たちが、引き継いでくれるかどうか <p>緑の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園管理システムの見直し（第1回WS、A班） →自治会の管理 緑をどう守るか自治会が責任を持つ 行政に頼るのではなく民間で管理する 管理団体、ボランティア団体任せでは、マネジメント
市民が身近にふれあえる【め】 緑の関心	<p>視点</p> <ul style="list-style-type: none"> すみわけが重要 観光⇔暮らし まちなか⇔里山 <p>配置・規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 中途半端な、使われているのかいないのかわからない、公園は廃止・縮小した方がよい 学校の近くにみどりを！！使えるものに 重点化必要 砂場小さい、砂の補充も大変(99) 新しい公園はいらない 公園をこれ以上作らないでよい、管理若しくは既存公園の改修に重点を 	<ul style="list-style-type: none"> 緑が欲しいけど、維持、管理が大変 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもは公園に遊具がないとダメ→佐久にない 子どもは龍神の杜公園や雪窓公園に行きたがる 原公園、遊具があって他より子どもが多く来ている(98) 密な植栽の危険性⇔日かげ 登れる木って何？ →モミジ、サクラ